



各 位

2025 年 8 月 27 日

綿半建材が「伐る・使う・植える・育てる」を柱とした森林の再生に向け、 長野県飯田市千代の山林 約 1,500ha を取得

綿半建材株式会社（長野県松本市 代表取締役会長：有賀 博）は、8月27日に野池愛林農業協同組合（長野県飯田市）より「長野県飯田市千代の山林 約 1,500ha」を取得しました。

林業は持続可能な循環産業



協力：林野庁林野図書資料館 イラスト：平田美紗子

【長野県の山林の現状と綿半の取組み】

長野県は、日本有数の「森林県」である一方、丸太生産量は全国 36 位と、必ずしも「林業県」とは言えません。

※令和 4 年時点 人工林 1ha あたりの丸太生産量

「伐る・使う・植える・育てる」という健全なサイクルが循環しなければ、土砂崩れの発生や生物多様性の喪失、松くい虫などによる病虫害につながります。残念ながら、長野県の多くの森林では「高齢化」が進んでおり、本来であれば伐って使う、いわゆる更新の時期を迎えています。

綿半建材は、「100 年先の森林を考えて」、従来のやり方に捕われず、次の世代に健全な森を引継ぐことを目的に、ReFI（Re Forest Innovation）プロジェクト を発足しており、「伐る・使う・植える・育てる」という、森を守り続けるための持続可能なサイクルを柱として、森林整備に関する取組みを進めています。

今回の山林取得は、その取組みをさらに前進させる大きな一歩となります。

今後は、周辺を含む飯田市をはじめ、長野県各地で、次世代に向けた健全な森林整備を進めていきます。

【伐採した木の活用方法】

取得した飯田市千代の山林を含め、飯田市周辺から伐採された木材は、2024 年 6 月 27 日に取得した龍江インター産業団地に運び出し、発電所用のチップ、住宅用の構造材や内装材になるほか、それらの加工品を綿半ホームエイドでの販売や、非住宅木造建築への利用・海外への輸出など、綿半グループのリソースを最大限に使用し、余すことなく活用していきます。

綿半では全ての木材を有効活用可能



【千代の山林取得に関するお問合せ】

○綿半建材株式会社

住所 長野県松本市笹賀 7116-1

M A I L refi@watahan.co.jp

【IR・取材に関するお問合せ】

○綿半ホールディングス株式会社 広報室

住所 長野県飯田市北方 1023-1

T E L 0265-25-8155 M A I L ir@watahan.co.jp